

北海道がんセンターの理念

私たちは、国民の健康で幸福な生活のため、最新の知識と医療技術をもとに、良質で信頼ある医療の提供に努め、特に「がん克服」に寄与することを目指します。このため、

- 常に、医療の質と技術の向上を目指します。
- 研究、教育研修を推進し、医療・医学の発展に寄与します。
- 患者さんの権利を尊重し、誠実な医療を実践します。
- 自主自律、創意工夫の精神で病院運営に当たります。

整形外科トピックス

切り取った骨を埋めるには？



整形外科医長 井須 和男

北海道がんセンターの整形外科は骨軟部腫瘍の診断治療を扱っています。骨腫瘍は骨に発生する腫瘍のことで悪性と良性の場合がありますが、治療では外科的に腫瘍を切除することが必要となります。すると骨に欠損ができなんらかの方法でそこを補う必要があります。できるだけよい機能を保つためにいろいろな方法が考案されています。

悪性腫瘍の場合は骨を切断して病巣の部分を骨ごととることになり、多くの場合関節もなくなってしまいます。外国では他人の骨を移植して治すこともありますが、同じような大きさ、形の骨を用意する必要がありますが我が国では困難です。腫瘍での骨破壊が大きくないときには、一旦切除した後体外で処理をほどこして腫瘍細胞を死滅させた骨を用いることがあります。温熱処理、放射線処理などが使われます。もともとの骨ですので形はピッタリと合わせることができます。正常の骨細胞も死滅するので生きています骨ではありませんが、正常の骨と接合した部で癒合することは期待できます。現在、最も一般的に使われているのは金属製の人工関節、人工骨頭です。人工関節も進歩してきていますが、腫瘍用の人工関節の場合は膝では屈曲90°程度など機能の制限が残ります。長期的には金属の耐久性、金属と骨の

接触部でのゆるみなどが問題となります。材質の改良、表面加工の工夫などでこれらを改善するよう試みられています。

良性腫瘍の場合では、腫瘍だけを掻き出し周囲の骨を削る方法が一般的です。この場合は骨に空洞があいたような形になりここを何らかの方法で埋める必要があります。自分の骨をよそから取ってくる自家骨移植、他人の骨を埋める同種骨移植が一般的でした。現在では、骨のミネラル成分と類似した人工骨が開発されています。この場合、人工骨自体は骨の強度を回復させるには不十分で、周囲の正常骨から生きた骨細胞がつくる骨組織が徐々に伸びて間隙を埋めていきます。年齢、空洞の大きさなどでも異なりますがだいたい数ヶ月から1年で修復が完成します。

骨腫瘍の治療では、悪性腫瘍でも生命的な予後が改善されてきており、できるだけ良好な機能を残すことが求められています。正常の骨、関節は精巧にできており生きて新陳代謝をしているため再生能力もあります。治療後にこれと匹敵するだけの機能、耐久性をもたせることは現在でも困難です。今後の進歩が期待される分野です。

Contents もくじ *****

整形外科トピックス 切り取った骨を埋めるには？	整形外科医長 井須 和男	1
食事を見直し生活習慣病を予防しよう	栄養管理室 管理栄養士 小木田香織	2
「春のコンサート」を終えて	副看護師長 樋口ゆかり	3
診療科別外来担当医師一覧		4

食事を見直し生活習慣病を予防しよう

栄養管理室 管理栄養士 小木田 香織

現代は食の欧米化に伴い、肉・卵・乳製品が大きな割合を占めており過剰栄養の状態にあると言われています。

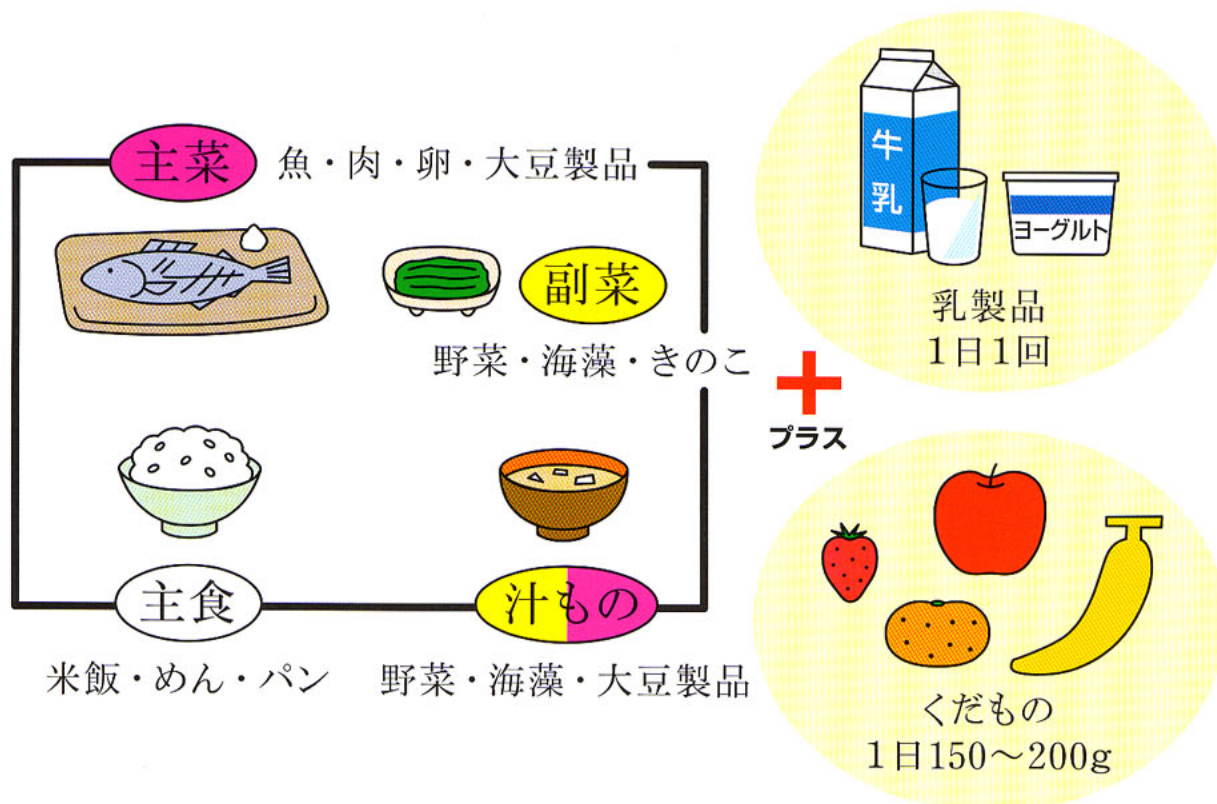
食生活の乱れで生活習慣病などを患う人が年々増加しています。遺伝やストレスなども考えられますが、やはり食生活の影響は見逃せません。そこで大切なのは食生活を見直し、自分の体と向き合うことです。

○和食はバランスがよい

日本人が守ってきた伝統的な和食は「日本型食事」と呼ばれ世界でも注目されています。和食は主食・主菜・副菜を組み合わせているので、炭水化物が一定量とれ肉・魚の量は比較的限られてきます。そして何よりも野菜を多く摂ることができます。しかし、欠点は乳製品の摂取が少なくなりがちなのでカルシウムが不足します。また、和食は塩分を摂り過ぎる傾向があるので味付けに注意しましょう。

主食	⇒ 米飯・パン・めんなど、穀物を主原料とする料理 主に炭水化物源となる
主菜	⇒ 肉・魚・豆、それらの加工品を主原料にした料理 主にたんぱく質源になる
副菜	⇒ 野菜・海藻・きのこなどが主材料の料理 ビタミン・ミネラル・食物繊維源となる

献立を立ててみましょう



「春のコンサート」を終えて

副看護師長 樋口 ゆかり

3月29日、外来ホールで札幌第一高校の合唱部の皆さんによる春のコンサートが開催されました。外はあいにくの天気、前日から降り続いた雨や雪のせいか、会場全体が少し肌寒く感じられましたが、春の到来を誰もが待ち望む中、美しい合唱と演奏がそんな寒さを吹き飛ばし、まるで春の風のように会場に響き渡りました。

プログラムは「春の歌、アカペラ、みんなでうたおう、器楽演奏、合唱」と5つのテーマに分かれ、観客も参加できるような構成になっていました。「1、2、3、ハイ!」「もっと、もっと!」という指揮者の掛け声に合わせて、一緒に歌ったり、じっと聞き入ったり、涙ぐむ姿も見られました。観客それぞれの心に染み入るひとときだったように思います。

会場には入院患者様、外来患者様、そしてその家族の皆様が集まってくださり、観客数は約150名。車椅子に乗ったり、点滴ポールを押しながら会場にやってきた患者様もいらっしゃいました。病院スタッフやボランティアスタッフの協力もあり、コンサートは無事に終了し、歌い終えた高校生たちが緊張した表情で病棟まで車椅子を押し、患者様に付き添う姿も見られました。

約1時間のコンサートでしたが、患者様、そして私達も美しい歌や演奏に癒され、心地よい、楽しい時間を過ごすことができました。一足早い春を運んでくれた合唱部の皆さん、どうもありがとうございました。



診療科別外来担当医師一覧

平成 18 年 4 月 1 日
北海道がんセンター

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
消化器科		高橋 康雄 大沼 啓之	大久保俊一 (午前) 藤川 幸司	藤川 幸司 桜井 環	高橋 康雄 (午前) 新谷 直昭	新谷 直昭 (午前) 大久保俊一	
呼吸器科	初診	原田 眞雄	原田 眞雄	福元 伸一	原田 眞雄	須甲 憲明	
	再診	須甲 憲明	福元 伸一	須甲 憲明	福元 伸一	原田 眞雄	
血液内科	初診	鈴木左知子	米積 昌克	(隔週交替) 黒澤 ・ 鈴木	鈴木左知子	(隔週交替) 相川 ・ 米積	
	再診	相川 啓子	米積 ・ 黒澤	米積 昌克	相川 啓子	黒澤 光俊	
循環器科	初診	横山亜由美	竹中 孝	井上 仁喜	藤田 雅章	鎌田 晋輔	
	再診	藤田 雅章	鎌田 晋輔	横山亜由美	竹中 孝	井上 仁喜	
小児科		飯塚 進	長 祐子 午後慢性疾患外来 (長 祐子)	飯塚 進 第1水曜午後 内分泌外来(飯塚進)	飯塚 進 小林 穂高	長 祐子 午後慢性疾患外来 (飯塚 進)	小児心外 第3金PM
精神神経科		休診	休診	休診	休診	休診	
外科		濱田 朋倫	内藤 春彦	濱田 朋倫	前田 好章	篠原 敏樹	
乳腺内分泌外科		(午前) 田村 元 上徳ひろみ	渡邊 健一	渡邊 健一 上徳ひろみ	田村 元 上徳ひろみ	田村 元 渡邊 ・ 上徳	乳がん検診 毎金PM
呼吸器外科		近藤 啓史		近藤 啓史	近藤 啓史		
整形外科		合田 猛俊 平賀 博明	(予約)	井須 和男 合田 猛俊	平賀 博明 相馬 有	井須 和男	
皮膚科		加藤 直子 大澤 倫子	山根 尚子 柳 輝希	加藤 直子 柳 輝希	山根 尚子 大澤 倫子	加藤 直子 山根 尚子	
泌尿器科		永森 聡	柏木 明	丸山 覚	永森 聡	柏木 明	
産婦人科		金内 優典 半田 康	山下 幸紀 青野 亜美	加藤 秀則 齋藤 裕司	半田 康 青野 亜美	齋藤 裕司 野澤 明美	
眼科		吉澤 史子 山本 哲平	吉澤 史子 山本 哲平	吉澤 史子 山本 哲平	吉澤 史子 山本 哲平	吉澤 史子 山本 哲平	
耳鼻咽喉科		永橋 立望 中村 成弘	永橋 立望 中村 成弘	永橋 立望 中村 成弘 田中 克彦	永橋 立望 中村 成弘	永橋 立望 中村 成弘	
放射線科		明神美弥子 西山 典明	西尾 正道 長谷川雅一	明神美弥子 市村 亘(予約)	西尾 正道	西山 典明 長谷川雅一	
麻酔科		岩波 悦勝 (予約)(10:00~)	休診	(入院対応)	休診	休診	
脳神経外科		伊林 至洋	池田 潤	池田 潤	古明地 孝宏	伊林 至洋	
心臓血管外科			明神 一宏 石橋 義光		明神 一宏 石橋 義光		
形成外科		皆川 英彦 舟山 恵美 (13:30~16:00)	皆川 英彦 舟山 恵美 (13:30~16:00)			皆川 英彦 舟山 恵美 (8:30~11:00)	

※受付時間は、平日午前8時30分から午前11時までです。(土曜日・日曜日・祝日は休診です。)

※都合により代診となる場合がありますのでご了承ください。